

1 2007年5月17日 会報第18号発行

1 出版本の紹介	事務局
2 硯水寺豊川稲荷社の問題	中村信弥
3 安永三年「奉納神社佛閣不明」算額について	野村恵智雄
4 和算の館に掲載された宮城流算額の下書を解説する	小林博隆
5 第3回全国和算研究(松山)大会 案内	愛媛和算研究会

2 2007年8月18日(土) 19日(日)

第3回全国和算研究(松山)大会 —和算を教育現場に— 主催 愛媛和算研究会  
中村信弥氏、北原勲氏参加

3 2007年8月27日 第4回長野県和算研究会総会案内状発送

4 2007年9月 北原勲氏 須坂市立相森中学校にて講演

演題「和算について」 「三平方の定理」は中3の秋以降履修に注意

5 2007年9月20日 信濃毎日新聞報道 「瓦に刻んだ数字 掛け算の九九か」。

上田信濃国分寺資料館は、特別展「古代信濃の文字」を開いている。「七九六十三」の数字が刻まれた八世紀後半の文字瓦を公開。信濃国分寺僧寺跡(信濃国分寺創建は770年頃)の発掘調査で、平成18年に出土、平成19年確認。  
→県内では、九九の刻まれた文字瓦は初めて出土。「屋代遺跡群出土九九木簡の再評価」によれば、「九九」の記された文字瓦は日本で3例目であり、貴重な資料である。(事務局)

6 2007年9月22日 第4回総会開催 於 長野県松代高校同窓会館

1 総会

1 開会のあいさつ (副会長 野村恵智雄)

2 会長あいさつ (会長 中村信弥)

3 議事

(1) 第4期事業報告 (事務局)

(2) 第4期会計報告 (事務局)

会計監査報告 (大谷監事)

(3) 役員改選

役員選出提案 (事務局)

新役員あいさつ (新副会長 北原勲)

(4) 第5期事業計画 (事務局、会長より)

特に、以下の件について協議した。

①長野県和算研究会のホームページ開設について

→仮称「長野の和算博物館」を試作する

②黒岩和男氏蔵書の寄贈申し入れ→地元須坂市の公共機関へ寄贈の方向で

③貸し出し用『算額のパネル』作成について→その方向で

## 2 研究発表

- (1) 『落ち穂拾い』 中村信弥 氏  
(2) 『観新考算変による長野県内の算額の解法』 北原 勲 氏  
(3) 『木曾の算額』 伊藤栄一 氏

※ 第5期事業計画に時間をかけたため、短時間で発表していただきました。

## 3 近況報告・昼食 12:20～13:00 ・記念写真撮影 【移動】

## 4 坂木宿ふるさと歴史館見学 13:40～14:40

坂城町教育委員会助川氏により解説をいただいた。

- ①話題の「風林火山」から、当地出身の戦国武将、村上義清にかかわる話題  
②和算展示室を中心に（和算概観、町内の和算資料、天幕社算額レプリカなど）

## 7 2007年9月20日 『だから楽しい江戸の算額』（研成社）発刊

著者は本会会員の小寺裕氏。「和算の普及・発展の原動力となった江戸時代のメディア「算額」は、江戸の人々だけでなく、なぜ現代人をも引きつけるのか、その魅力を写真や図を駆使して平易に語る。」（本書紹介文より）

## 8 2007年9月22日 『算塚が伝える和算家たち』（信毎書籍出版センター）発刊

著者は本会会員の小林博隆氏で、県内に残る51件東京浅草寺に残る1件、計52件の和算家の頌徳碑をテーマに和算家を紹介。  
信濃毎日新聞11月1日夕刊に報道記事あり。

## 9 2007年9月24日 本会会員黒岩和男氏蔵書あずかり

北原勲氏 地元須坂市の公共博物館等へ寄贈の方向で、関係方面に折衝する。  
→須坂市博物館に寄贈となる。  
なお、算額撮影写真36種37枚は、事務局で保管しています。

## 10 2007年10月19日 飯山市常盤柳新田に新算額発見

山崎実氏は、岡田米治氏より10月18日に算額存在を伝えられ、翌19日確認。  
10月20日（土）、山崎氏の案内で、荻原由一氏、北原氏、小林氏の4人で、飯山市常盤柳新田の滝澤周造氏宅を訪ねた。【調査結果】については「県和算研究会会報第19号」で紹介。県内現存68番目の算額となる。

【詳細】

・種類	掛軸算額	・奉納場所	不明
・奉納年	無記載	・奉納主	湖仙羨容
・流派	不明	・保管場所	飯山市常盤柳新田 滝澤周造氏宅
・内容	容術算題 二問		

## 11 2007年11月10日～12日 山崎実氏 木島平村生涯学習講座にて

3日間に亘り和算講座「木島平の数学者と和算」にて 講演（主催：木島平村教育委員会）  
初 日 木島平地方の数学の曙 ～曲天の角目と丸目～  
第2日目 木島平の数学者たち

最 終 日 奉納算額の問題を解く ～水穂神社・一川谷大元神社・天然寺～

**12 2008年1月31日 県内現存算額69面目となる復元算額を奉納**

場所は、木曾寢覚ノ床 臨川寺弁財天社。原奉納は、小野甫邦（関流）による。復元奉納したのは、長野県蘇南高等学校・木曾山林高校15名（指導教諭 伊藤栄一氏）による。信濃毎日新聞1月17日、2月1日付け報道記事あり。

解説書『寢覚めの床 臨川寺弁財天社 小野甫邦奉納算額の解説』を作成。なお、（財）長野県学校科学教育奨励金の援助を受けている。

**13 2008年1月19日～3月2日 新宿歴史博物館特別展**

「三百年祭記念 関孝和と和算の世界」が開催される。図録として『関孝和の人と業績』が研成社から発刊される。

**14 2008年2月23日 小林博隆氏 飯綱町りんごパークセンターにて講演**

主催 飯綱町教育委員会

演題「飯綱町の和算家たち」。13:30～15:30 参加者 54名

**15 2008年3月10日 長野県和算研究会会報第19号発行**

1 新会員紹介 横山智典さん	事務局
2 飯山市常磐の新発見『掛軸算額』の報告	山崎実 北原勲 小林博隆
3 享和元年奉納久保寺観音堂第6問	中村信弥
4 伊那市上牧の現存算額	小林博隆
5 寢覚の床弁才天社の算額(非現存)の解釈と木曾の算額	伊藤栄一
6 「宮城流所懸川中嶋廣田地蔵堂之者一事」について	小林博隆
7 奉納場所不明の宮城流算術の写	小林博隆

**16 2008年7月19日 第5回算額見学会 新発見算額を焦点に**

参加者 中村、北原、野村、関、田中、伊藤、山崎、内岩、嶋田、小林；関口、吉谷（北信タイムス記者）；堀内、河野、芋川村3人、合計17名

きっかけは、堀内幸雄氏が著した『郷土の歴史と文化遺産愛宕山』に算額写真掲載、それを閲した河野先生から中村会長に連絡が入る（7/4）。

奉納場所は中野市片塩愛宕山で、別当（管理役）が大徳寺。現在は大徳寺で保管している。奉納年は天保9年正月で、県内現存第70枚目算額となる。愛宕山の室内で保管されていたため、若干の虫食いはあるが保存状態は良い。

奉納者は、第一術が芋川村の草間権左衛門尉元、＝？草間由水＝？木曾喜太夫定則＝？木曾権左衛門尉元か。彼は、天保12年には江戸浅草池田邸内伽山に木曾権左衛門尉元の名で算額を奉納している（増補長野県の算額）。また、草間家には和算書多数ありという。第二術は同村宮嶋與五右衛門宴蔵で芋川村組頭を勤めた人物という。両名とも、今後の更なる調査が必要である。

## 17 2008年7月21日 長野県和算研究会会報第20号発行

1	第5期役員紹介	
2	「信州落穂拾い」シリーズ(3) 満昌院の第1問	中村信弥
3	書籍紹介	田中秀明
4	第4回全国和算研究(群馬)大会のご案内	群馬県和算研究会

- 18 2008年8月2日(土)・3日(日) 田中秀明氏 自然科学誌 2008「自然と遊ぶ」で講師を務める。主催は信州大学理学部信州自然誌科学館。参加対象者は小学生、中学生、高校生、大学生、一般市民と広範囲。

ブースGB5タイトル「和算(日本の数学)と遊ぶ」。内容は主に「目付字」をマジックとして披露し、種明かしとして2進法の説明を加えた。また、西洋の数当てゲームとの比較もした。他に、5珠算盤と筑摩神社の算額写真を展示した。

- 19 2008年8月23日(土)・24日(日) 第4回全国和算研究(群馬)大会

会場は、群馬県吾妻郡中之条町地区 ツインプラザ(公開講演会)、歴史民俗資料館(企画展見学)、四万温泉「国民宿舎 ゆずりは荘」(大会・宿泊)

主催は、群馬県和算研究会

北原、田中、寺島宗伴先生をたたえる会(鬼無里村5人)が参加。

第5回は長崎県にて、第6回は神奈川県で開催予定。

- 20 2008年10月4・5日 第6回算額見学会実施

1 場所：下伊那地方を中心として

2 宿舎：国民年金健康保養センターひるがみ 阿智村智里503-378

TEL 0265-43-2255

3 日程概要

10月4日(土) 午後1:00 元善光寺の駐車場

13:00	元善光寺	算額拝観	
14:00	鳩ヶ嶺八幡宮(松尾神社)	算額拝観	1
15:00	長石寺	算額拝観	2
16:00	金山神社	算額拝観	3
17:00	一色諏訪神社	算額拝観	4

10月5日(日)

9:00	阿智村美濃部さん宅5、	算額拝見	
10:00	阿智村の田中さん宅	算額・和算資料拝見	
	帰路(有志)駒ヶ根光前寺	算額拝観	

4 参加者：伊藤、内岩、北原、小林、田中、山崎

- 21 2008年10月 大室昂氏 東信史学会にて講演

埴生公民館にて講演「和算家と算額」。島田徳治と宮坂喜昌を中心に

- 22 2009年1月24日 小林博隆氏 講演「松代町の和算家たち」

NPO夢空間 松代学講座にて 於松代町大英寺信徒会館

1月27日付信濃毎日新聞にて報道あり。

23 2009年2月23日 蘇南高校の『数学基礎』で算額作り。

和算を普及する会主催、「算額を作ろうコンクール」に出品。生徒の1人が『奨励賞』を受賞。指導者伊藤栄一先生

● 長野県和算研究会会員による論文・図書を紹介（第5期分）

- |   |              |      |             |            |
|---|--------------|------|-------------|------------|
| 1 | だから楽しい 江戸の算額 | 小寺 裕 | 研成社         | 2007.09.20 |
| 2 | 算塚が伝える和算家たち  | 小林博隆 | 信毎書籍出版センター  | 2007.09.22 |
| 3 | 和算家池田定見とその周辺 | 小林博隆 | 『信濃』（信濃史学会） | 2007.10号   |
| 4 | 終焉期の和算家 野池嘉助 | 小林博隆 | 『信濃』（信濃史学会） | 2008.11号   |

● 長野県和算研究会蔵の図書等の紹介（第5期分）

- |   |   |                             |            |
|---|---|-----------------------------|------------|
| 1 | CD 『改訂増補長野県の算額』   | 中村信弥氏寄贈                     | 2007.08.24 |
|   | 『Japanese Temple Mathematical Problems in Nagano Pref. Japan』 |                             |            |
|   | 『和算の花』  | いずれも Acrobat Reader でみられます。 |            |
| 2 | 黒岩和男氏撮影の算額写真 36種 37枚  | 黒岩和男氏寄贈                     | 2007.09.28 |
| 3 | 算塚が伝える和算家たち（信毎書籍出版センター）                                       | 小林博隆氏寄贈                     | 2007.09.22 |
| 4 | CD『愛媛の算額』   | 愛媛県和算研究会寄贈                  | 2007.10.24 |
| 5 | 「和算研究 復刻 合本 I」日本数学史学会発行                                       | 研成社制作                       | 2009.03.02 |
| 6 | 長崎和算研究会50回の歩み   | 長崎和算研究会                     | 2009.03.30 |

※ 記載漏れの活動報告・論文・図書等について、情報をお寄せ下さい。（事務局）